記憶の教材教具

記憶の学習教材を載せました。発達段階に応じて活用してください。

※教科は一例です

<table>
<tr><td rowspan="2">教材教具名</td><td rowspan="2">音の出る絵本</td><td>分類</td><td>記憶（聴覚）</td></tr>
<tr><td>教科</td><td>こくご・さんすう</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="3">・音をまねすることができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">教材教具の概要</td></tr>
<tr><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>使用方法・工夫点</td><td>絵を見ながらボタンを押して音を聞いたり真似したりする。
絵を隠して音を出し、何の音か答えさせたり絵カードを選ばせたりする。</td></tr>
</table>

教材教具名	買い物ごっこ	分類	記憶（聴覚）
		教科	こくご・さんすう
ねらい	・「～とってきて」のことばの指示でとってくることができる		

教材教具の概要

使用方法・工夫点	「～とってきて」と言葉だけで指示をする。 とってきたものをカードで確認する。 できるようになったら数を増やしたり、距離を延ばす。 ※難しいようであればサインもOK

教材教具名	手渡しマッチング	分類	記憶（視覚）
		教科	こくご・さんすう
ねらい	・同じものを選ぶことができる		

教材教具の概要

使用方法・工夫点	型はめをする。 写真を見せながら「これと同じものをちょうだい」と言って選ばせる。

教材教具名	2語文かるた	分類	記憶（聴覚）
		教科	こくご
ねらい	・2語文を復唱できる		

教材教具の概要

使用方法・工夫点	選択用カードを子どもの前に並べる。「男の子が走っている」と出題。必ず復唱させる。できるようになったら子どもが出題し、教員が取る。

教材教具名	複数カードゲーム	分類	記憶（聴覚）
		教科	こくご・さんすう
ねらい	・複数のものを選ぶことができる		

教材教具の概要

使用方法・工夫点	複数カードを並べ、「リンゴとバナナをとって」と言い、子どもが選択したら確認カードで確認をする。 できるようになったら、単数カードを使って「リンゴとバナナをとって」と言い、2枚選択できたら確認用カードで確認をする。できるようになったら容量を増やす。

教材教具名	数字あそび	分類	記憶（聴覚）
		教科	さんすう
ねらい	・数字をおぼえ、言うことができる		

教材教具の概要	
使用方法・工夫点	数字のカードを一組、離れたところに並べ、もう一組の数字カードを3枚順番に読みながら並べる。子どもに繰り返させ、数字カードを取ってこさせる。とってきたカードをマッチングして確認